

～さわやかな心 しんけんな目 まなぶ力～



心のまど



道徳だより 12月号

令和3年12月24日

住所：〒333-0816

川口市差間430番地

TEL：296-7021

最近では、心身の傷がいえずに命を落としてしまったり、目標がなくただ日常を過ごす児童が増えたりと、より一層の「心」の教育が重視されています。学校では、「さわやかな心」「しんけんな目」「まなぶ力」を育てています。一人一人の「心」に響く教育ができればと考えています。ただ、「心」の教育の充実には学校だけではなく、保護者、地域の方々と連携する必要があると感じています。子どもたちの「思い」や「頑張る」姿を御一読いただき、差間小の児童に関わる全員で見守っていければと考えています。よろしく願いいたします。

☆学校全体の重点内容

B-1(6) 親切・思いやり

⇒身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

C-1(10) 規則の尊重

⇒約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にすること。

☆各学年の重点内容

B-1(6) 親切・思いやり 1学年

身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

C-1(10) 規則の尊重 2学年

約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にすること。

C-1(11) 規則の尊重 3学年

約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。

B-1(6) 親切・思いやり 4学年

相手のこと思いやり、進んで親切にすること。

B-1(7) 親切・思いやり 5学年

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。

C-1(12) 規則の尊重 6学年

法や決まりの意義を理解したうえで進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。

5年生でこんな授業をしました



主題名 家族の一員として 「家族のために」



☆あらすじ

5年生のアキは、父母と兄の4人暮らし。父は帰りが遅く、母も早いとは言えない。

ある日、母が帰りが遅くなり、父が夕飯をつくることになった。学校の帰りに雨が降り、急いで帰って洗濯物を取り込むアキ。夕飯を作るはずだった父が帰りが遅く、さらにイライラが募る。

次の日、朝起きると、帰りの遅かった母が朝食を作っている。父はベランダで洗濯物をしている。父も母もわたしたちのことを考えて、家の仕事をしていると実感するアキ。遠足からかえると、アキはお弁当箱を自主的に洗い始めた。

☆ねらい

分担された家事を負担と考えていたアキが、常に家族のみんなの幸せを考えて家の仕事をする両親の思いに気づく姿から、自分のできることを考え、家族のために進んで役立とうとすること。

☆ご家庭でも

道徳授業のことをご家庭でも振り返ってみてはいかがでしょうか？また、家族のために、お手伝いをさせてみてはいかがでしょうか？

☆児童の振り返りより

- 決められた仕事以外にも、家の仕事を進んで家族のために行おうと思った。
- 自分ができることを精一杯、役に立ちたい。
- 家族の幸せを考えて、家事を分担しようと思った。
- 困っていたら、家族同士で助け合わないと改めて感じた。
- 家族のために、考えるべき。

☆弁当を洗い始めたアキは、どんなことを考えたか

- やってよかった。
- これからはお手伝いをして、両親を楽しませよう。
- 両親にいつも「ありがとう」という気持ちを込めて、お手伝いをする。
- 家族のために助け合うことが大切だから。
- 私ができることは進んで行おうと思った。



道徳だよりの感想や家庭や地域で道徳性が育っているなあと感じたら、学校までお寄せください。

6年生でこんな授業をしました



主題名 生命のつながり



「その思いを受け継いで」

☆あらすじ

小さい頃からかわいがってくれていたじいちゃん。重い病気で入院してしまい、余命3か月と宣告される。本人に余命のことは知らされていない。

ぼくは、毎日欠かさず病院へ行き、じいちゃんが少しでも元気になったら声をかけ続けるが、じいちゃんの具合はどんどん悪くなってしまふ。ある日、学校から帰ると両親はおらず、急いで病院へ向かう。その夜、ぼくの手を握りながらじいちゃんは亡くなる。

枕の下にあった「のしぶくろ」には、一か月先のぼくの誕生日に向けて、しわくちやの字で最後の言葉が書かれていた。

☆ねらい

- 私たちの生命は、さまざまな人とのつながりや支え合いの中で生まれ、受け継がれていくかけがえのないものということに気づき、自他の生命を尊重し、力強く生きていこうとする心情を育てる。

☆ご家庭でも

道徳授業の話をぜひご家庭でも話題にしてみてください。命の大切さや家族のつながりでみんなが今生きていることを改めて感じてほしいですね。

☆児童の振り返りより

- 自分が今生きていること、それだけで幸せだと思った。
- 余命三か月と言われたら、最後までその人が幸せでいられるようにそばにいてあげたい。
- 人間には命が一つしかなくて、家族から受け継がれているその命を大切にしなければと思った。
- 一度きりの人生だから、経験したいことをやりきりたい。

☆命はどうして大切なんだろう

- 両親が大切にこの命を育ててくれて、いろんな思いが一つの命にあるから。
- その人がいるから自分も生きていけるから自分も相手も命は大切。
- その人の今までの人生や思い出がたまっているから。なくしたら二度と取り戻すことができない。
- 人間はいろんな人に見守られているから、みんなの命を大切にしたい。



道徳だよりの感想や家庭や地域で道徳性が育っているなあと感じたら、学校までお寄せください。